

報道機関各位

長岡市和島支所産業建設課長



良寛の里美術館 特別展 「良寛を敬愛した人びと展」を開催

道の駅良寛の里わしま・良寛の里美術館では、良寛・貞心尼の魅力を紹介する企画展・特別展を開催しています。

このたび、7月22日から特別展「良寛を敬愛した人びと展－西郡久吾、相馬御風と長岡ゆかりの先人たち－」を開催します。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

良寛の里美術館特別展 「良寛を敬愛した人びと展－西郡久吾、相馬御風と長岡ゆかりの先人たち－」

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 7月22日(土)～9月18日(祝・月) 午前9時～午後5時(9月4日のみ休館) |
| 2 会 場 | 良寛の里美術館(長岡市島崎3938) |
| 3 見どころ | 良寛の遺墨をはじめ、初の全集である『北越偉人沙門良寛全傳』をまとめた西郡久吾 ^{※1} 、その影響を受けた文学者・歌人の相馬御風 ^{※2} を中心に、良寛を敬愛した長岡ゆかりの人びとに関する資料を、初公開のものを含め約60点展示します。 |
| 4 展示内容 | 良寛、西郡久吾、堀口大學、松岡譲、川上四郎、水島爾保布、遠山夕雲、会津八一、相馬御風、山本五十六、山本以南 ほか |
| 5 その他 | (1)7月29日(土)・8月5日(土)午後2時から、職員による展示解説を行います。 (2)特別展時期に合わせ、良寛・貞心尼ゆかりの地である長岡市和島地域～燕市～出雲崎町が連携したリレー講演会を開催。 ●長岡会場講演会 日時：9月2日(土)13:30～15:00 場所：良寛の里美術館隣接の「道の駅良寛の里わしま和らぎ家」 ※詳細はチラシ参照 |

※1 西郡久吾(1867～1931)

長岡中学校教諭。大正3年に『北越偉人沙門良寛全傳』を刊行。教え子に山本五十六、川上四郎、堀口大學、松岡譲らがあり、西郡の影響を受け、良寛を敬愛した。

※2 相馬御風(1883～1950)

今年生誕140年を迎えた文学者・歌人。良寛研究者としても知られ、大正7年に代表作『大愚良寛』を刊行。『北越偉人沙門良寛全傳』を読み、触発されて良寛研究に入ったと語る。

問い合わせ：和島支所産業建設課 菊地

TEL 0258-74-3114

良寛と貞心尼魅力発信事業



リレー講演会

良寛と貞心尼を語ろう

長岡市

燕市

出雲崎町

連携



参加費無料

出雲崎町に生まれ、
燕市(五合庵)で暮らし、
長岡市(和島)で没した良寛。
長岡で生まれ、長岡で良寛と出逢った貞心尼。
良寛と貞心尼ゆかりの地を結び、
その魅力に迫るリレー講演会に、ぜひ、お越しください。

長岡会場

9月2日(土) 13:30~15:00

会場/道の駅良寛の里わしま「和らぎ家」(長岡市島崎5551番地)

『良寛と貞心尼の出会い』

※終了後、良寛の里美術館で特別展の展示解説あり(入館料必要)

講師/全国良寛会理事・漫画家 **高橋 郁丸**さん

定員/先着50名

申込先と方法 7月15日から電話で
良寛の里美術館 ☎0258-74-3700

燕市会場

10月14日(土) 13:30~15:00

会場/分水福祉会館(燕市上諏訪10-16)

『良寛の俳句と佛教の話』

講師/清龍寺住職 **金山 有紘**さん

定員/先着70名

申込先と方法 9月12日から電話で
分水良寛史料館 ☎0256-97-2428

出雲崎町会場

11月18日(土) 13:30~14:30

会場/出雲崎町中央公民館講堂(三島郡出雲崎町大字米田281-1)

『良寛さんに学ぶ』

講師/全国良寛会名誉会長 **長谷川 義明**さん

定員/先着50名

申込先と方法 10月10日から電話で
出雲崎町中央公民館 ☎0258-78-2250

主催 長岡市・燕市教育委員会・出雲崎町教育委員会

良寛の里美術館

特別展「良寛を敬愛した人びと展」

西郡久吾、相馬御風と長岡ゆかりの先人たち」

令和5年 7月22日(土)～9月18日(月・祝) 9月4日(月)のみ休館

開館時間 午前9時～午後5時

入館料 大人500円、小人300円

電話 ☎0258-74-3700

その他 7月29日(土)・8月5日(土)午後2時から職員による展示解説を行います。
(展示室前集合／申込不要)



水島爾保布「良寛とわらべ」自画讃
長岡市立中央図書館蔵

展示内容 良寛、西郡久吾、堀口大學、松岡讓、川上四郎、水島爾保布、遠山夕雲、会津八一、相馬御風、山本五十六、山本以南ほか

見どころ 『北越偉人沙門良寛全傳』をまとめた西郡久吾、その影響を受けた相馬御風を基軸に、良寛を敬愛した長岡ゆかりの人びとの思いを探ります。初公開を含む、約60点の資料を展示します。

燕市分水良寛史料館

秋の特別展「良寛墨宝展」

令和5年 10月11日(水)～11月5日(日) 月曜休館

開館時間 午前9時～午後4時半

入館料 大人300円、高校生・学生200円、小・中学生100円

電話 ☎0256-97-2428



良寛 鍋蓋刻字「心月輪」
個人蔵

展示内容 重要文化財・県指定文化財を中心に、良寛ゆかりの人々の作品も展示

見どころ 公開の機会が限られる指定文化財をご覧ください。中でも「心月輪」は、良寛が托鉢の道すがら解良家に立ち寄った際に鍋蓋に揮毫したもので、後に刻字した部分に胡粉が入れられています。のびのびとして美しい書は、良寛作品の中でも評価が高い一品です。

良寛記念館

後期特別展「良寛と貞心尼師弟展」

令和5年 10月4日(水)～12月28日(木) 11月より水曜休館

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 大人400円、高校生200円、小・中学生100円

電話 ☎0258-78-2370



安田鞞彦画『良寛と貞心尼』(初対面の図)
良寛記念館蔵

見どころ 良寛と貞心尼は、現長岡市島崎の木村邸庵室で初対面を果たしました。それ以降、両名は、仏道と和歌の師弟関係となり、数々の唱歌や逸話を遺しています。そして、最後、貞心尼は良寛を看取り、良寛辞世の句「裏を見せ 表を見せて 散るもみじ」を伝え聞くことになりました。40歳年の離れた両名の関係は、後世の随筆家から「真実の愛」、「最後の恋」と表現されています。しかし、両名の交流の根底は、共に仏道を歩む師弟関係でありました。本展覧会は、柏崎市指定文化財貞心尼歌集「蓮の露」をはじめ、長岡市大矢家所蔵「良寛漢詩屏風」など両名の遺墨を展示し、良寛と貞心尼の師弟関係を顕彰します。